

平成28年度 庄内神社学園 庄内こどもの杜幼稚園
 年長組 運動会「杜のお手伝い隊」の様子③ 7/11



道具グループ 3回目の活動は、ペットボトルを使った応援グッズ作りのお話をして、応援してもらう時にどのペットボトルが大きくてきれいな音が出るか実験しました。「ペットボトルの中にいろいろな物を入れたら音が出る」ということで、「砂」「水」「ビーズ」など様々な物を入れて叩き合わせると、意外にも「空のペットボトルが一番大きい」という事に気付きました。次はペットボトルの大きさ！350ml、500ml、1Lの空のペットボトルで叩き合わせると、350mlより小さい物は音が小さく、500ml以上はよく聴こえるという結果に！実験をして子どもたちは「何も入れる、大きいペットボトルが良い！」という事に気付きました。次回は、装飾についての話をしていきたいと思っています。子どもたちのアイデアのつまった作品にご期待下さい！



↑砂、水、ビーズなども入れたペットボトル



↑大きな音が鳴るが実験中！

司会・救急隊グループ

今日は、3回目の活動で南消防署へ行き救急についての話を聞きました。人を助ける車は「救急車」「消防車」「ドクターカー」があるという事を話してもらい、車ごとに仕事が違う、乗っている人の役割も違うという事を知りました。その後は、救急外傷セットを見せてもらい、どんな道具が必要かを聞きました。「三角巾を見た時、腕を骨折していた子を思い出して、あ、OOと一緒だね」と思い出していました。説明の後に、消防士さんから「みんなは運動会でどうやって人を助けたい？」と聞かれ「大丈夫？」「声がうるや」「冷たいの貼る」「看護士の先生呼ぶなど自分達ができる救急について考えていました。次回は、今まで学んできた事を含め、具体的にどんな仕事をやるか、子ども達考えたいと思います。岩崎



▲本消防士から説明
 ▼椅子に座って話を聞きました。



＜お知らせ、下の子のお手伝いグループ＞

3回目の活動は「下の子のお手伝い」について実際に乳児組と一緒に過ごしながらどのような手伝いがあるか、どのように関わっていくかよいのか考えていきました。乳児と積極的に関わっていく子ども、心づかしさや戸惑いがある子ども等、様々な姿が見られました。自分なりにどのように関わっていくかよいのか考えていきました。又、乳児組の子どもたちも少し戸惑いはありましたが、年長児たちを受け入れていました。その後、皆で実際に乳児と関わり、自分のしてみたことや難しかったこと等話し合いました。それぞれの意見を皆で共有し次の活動に繋がっていきたいと思います。



※今回掲載されている写真は全て子どもたちが撮影したものです。 足立